

「春の交流会」(3/25)を企画！参加者募集



TNC
通信

2023
3月号

「カルタは2人ではつまらない」そんな会員の一言から始まった、今回の企画。そういえばオンラインでも無理。留学生も“知っているけど遊んだことはない”という返事が多く、カルタは文化交流にもなるのでは？ 感染者も減少し、温かい季節にもなったので、留学生を招き、前半はカルタ遊び、後半は茶話会を考えています。皆さん、お友達もお誘いして、一緒に楽しみませんか！

<日時・会場> 3月25日(土) 14:00~16:00、富ヶ丘公民館

<その他> 会員、子どもは無料、非会員は200円。

※申込は横山事務局長 090-7525-8669 まで。締切は3/20。20人程度。

卯年の一言

「兎を見て狗を呼ぶ」一兎を見つけてから、それを捕えるために犬を追いかけさせることから、手遅れだと思っても間に合うこともあるので、あきらめてはいけない、また事後に対策をたてても遅くないの意。逆に手遅れの意もある。(『新序』雑事)



「春の漢詩」「春望」杜甫

國破山河在 城春草木深
感時花濺淚 恨別鳥驚心
烽火連三月 家書抵萬金
白頭搔更短 渾欲不勝簪

【通解】 我が国家・唐の都が破壊されてしまったのに山河はここに残っており、都・長安に春が巡ってきて草や木が生い茂っている。世の移り変わりを感じては花を見て涙を流し、家族との別れを恨んでは鳥の鳴き声を聞いても心は痛む。戦乱が三か月続いている中で、家族からの手紙は大金と同じくらい貴重だ。白くなった髪は頭をかたたびに短くなって、冠のかんざしさえもつけられなくなろうとしている。

※唐・玄宗皇帝の末期、杜甫も安祿山の乱に巻き込まれる。46歳。五言律詩

「元宵節」行事に参加！！

2月5日に県協会青年委員会は午後から国際センターで、宮城華僑華人女性聯誼会は午前仙台市シルバー人材センターで

『中国語は不思議—「近くて遠い言語」の謎を解く』(橋本陽介著 新潮選書 1485円)

同じ漢字を使う親戚のような日本と中国。しかしなぜ発音が違うのか、なぜ簡体字になったのか、なぜ過去形がないのか等々、中国語に関心のある方へ、特に中級クラスにお薦め。しかし言語学的解説の息抜きのような楽しいエピソードが多く、

初級者にも楽しい、通常の文法書にはないエッセイになっている。中国語の歴史を通してその文学や思想、歴史へと迷い込めるのだ。(M)



元宵節を祝う企画を開催。富谷市日中の会員も参加しました。写真①②は二胡と合奏した篠笛の松井健さん。



香香(シャンシャン)帰国！



上野動物園で生まれたジャイアントパンダ(雌5歳)

が2月21日、四川省に帰りました。

本来2020年12月とされていましたがコロナ禍のため延期されたもの。成都パンダ繁殖研究基地で会えると思います！写真はNHK TV。

「パンダ招致運動を粘り強く！」

北九州市でも「写真展」

少し遅くなりましたが、昨年9月に富谷市役所で行った国交正常化50周年の「写真展」が福岡に続いて昨年12月に北九州市内で行われました。先日、主催者より「素敵な貴重な写真のおかげで成功裏に終わりました」との言葉と共に写真の返却がありました。写真を提供された上海・菅原寿和さんにもお伝えしました。

